2024/12/9

＜白金標準、12 日の ECB 理事会まで下値模索の展開・・＞

（出所：オアシス）

EU 加盟国の中でドイツに続く第 2 位の経済大国であるフランスでバルニエ首相が予算案の一部を採決なしで議会を通過させるため、49 条 3 項を発動し憲法上の手段を行使した事からバルニエ首相に対する不信任決議案が可決しバルニエ首相は辞任している。また東アジアの韓国でも尹錫悦韓国大統領が、政権を麻痺させようとする野党の動きを阻止し、自由と憲法秩序を守るとして緊急戒厳令を発動するなど、フランスや韓国の政治混乱を受け関係国通貨が売られている。特に白金標準先物は、欧州の経済指標の低下を受け利下げ観測が高まりユーロ安を受けて下げだすと、次期財務長官にスコット・ベッセント氏を指名した事から金価格が下落し、白金標準先物も 4507 円まで下げている。特に WPIC 第 3 四半期 PGM 需給報告で 3 年連続の供給不足を受け、4500 円で下げ渋るもフランスや韓国の政治リスクの高まりを受けた、ユーロ安、円高の動きに押されだし、週末の雇用統計で失業率が上昇するなど雇用情勢の悪材料で 4507 円を下回ると 4496 円を模索している。そのため 12 日の ECB 理事会までユーロが売られ易い環境下である事から下値模索の値動きと思われる。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD が下げ渋り、シグナルは下げている。RCI では短期の上昇が止まり、長期は低い水準で横ばいを続けている。特に 10 日移動平均線が下げ続けており、今しばらく下値模索には注意が必要と思われる。

2024/12/9

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,359,000 円(2024 年 12 月 9 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。 ○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。 ○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 12 月 9 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30～17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター https://www.finmac.or.jp 日本商品先物取引協会相談センター https://www.nisshokyo.or.jp